

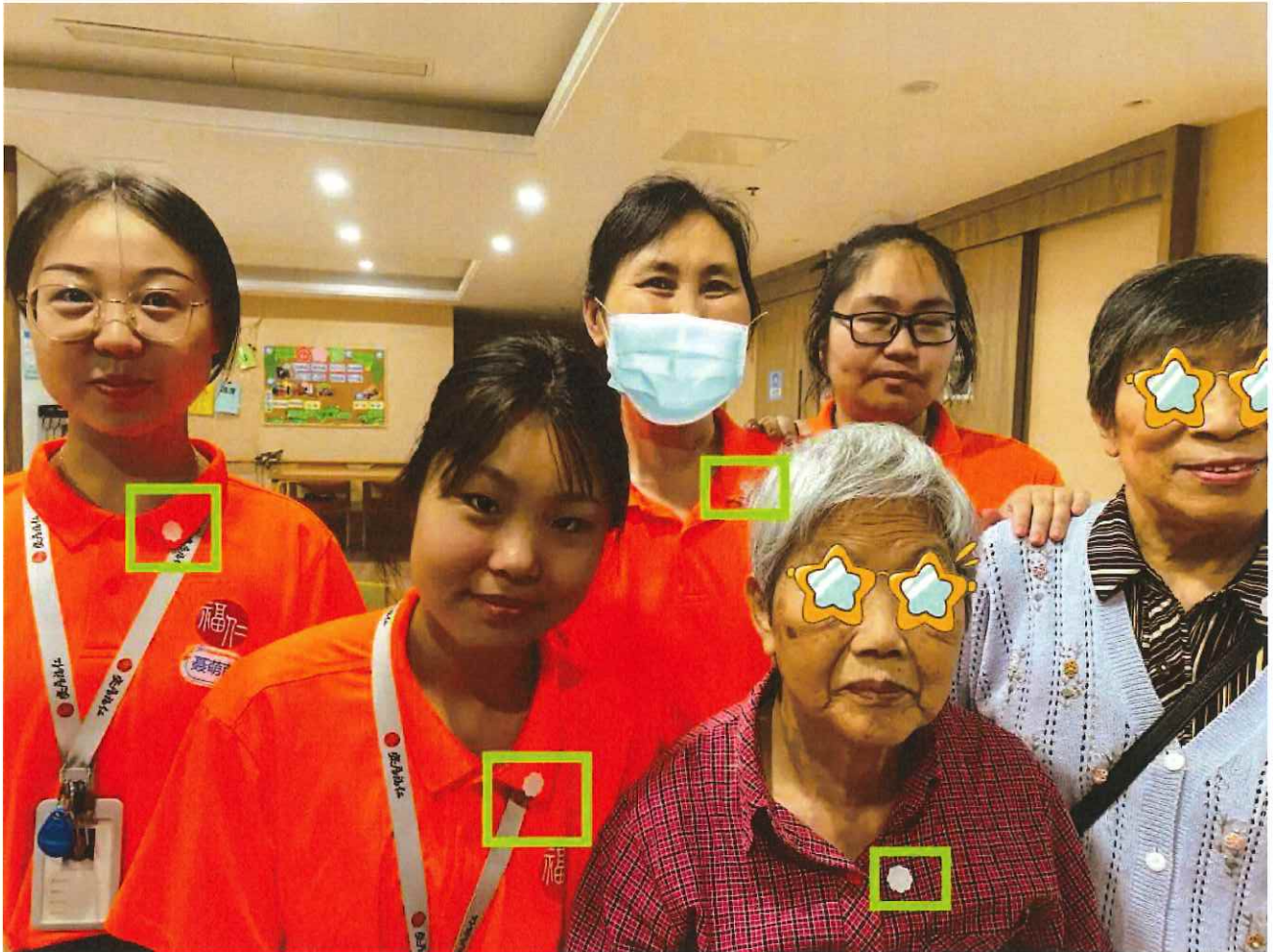


人は加齢とともに徐々に体が老化することは誰もが理解していると思いますが、老化の過程では多くの変化が明らかです。最も一般的なのは、多くの高齢者が臭い、いわゆる「老人臭」を発するようになるということです。これは不衛生なせいだと考え、頻繁に入浴し、頻繁に着替えますが、結果は常に満足のものではありません。では、「加齢臭」はどこから来て、どうやって取り除くのでしょうか？まずは、南京第一医院皮膚科の呉院長を追って、皮膚に関する知識を学びましょう。



皮膚は人体の最大かつ最も重要な器官です。人体の最も外側に露出しているため、バリア保護機能、分泌・吸収・排泄機能、感覚機能、体温調節機能などの主要な機能が私たちにとって重要な役割を果たしています。一見目立たない皮膚の重さは体重の5%！敷き詰めた総面積は1.5～2㎡！最も重要なことは、皮膚の皮脂腺の分泌量がいわゆる「臭い」と密接に関係しているということです。頭と顔には皮脂腺が最も多く、約 400～900/cm<sup>2</sup> ありますが、体の残りの部分には皮脂腺が少なく、約

100/cm<sup>2</sup> あります。加齢に伴い皮脂腺の機能は徐々に低下し、バランスが崩れます。手足や体幹の皮膚は油の分泌が徐々に減ってきますが、頭や顔の皮脂腺は依然として多量の油を分泌しており、特有の臭いを発します。同時に、老化した皮膚の代謝能力は徐々に低下するため、分泌される物質や繁殖する細菌や真菌の一部は代謝されずに除去されなくなります。そのため香りが長持ちします。もちろん、高齢者に伴う慢性疾患や食生活も「老い」を形成する重要な要素です！



安寿風連介護センターでは、高齢者という特殊な事情を考慮し、高齢者対応の際には窓を開けて換気や空気の循環に気を配り、高齢者が交換したおむつやおむつを古新聞で包むことに常にこだわっています。臭いの拡散を防ぐために、専用のゴミ箱に捨ててください。また、館内各所に空気除菌装置を設置し、室内の空気を効果的に循環させたり、最近では海外製品を導入し、高齢者や従業員の首輪に装着するアロマパッチなどを配布しています。香りが長く持続し、蚊よけや神経を落ち着かせるなどさまざまな効果があり、年長者からも大絶賛されています！